

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 心理検査法			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのよ心理臨床の実務経験に基づき、心理臨床の実践に必要な心理検査の概要について、体験的に学ぶ授うな授業を行っているか: 業展開を行っている。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
心理検査の基礎を学び、人間の多様な心理を客観的に根拠をもって理解するための技術の基礎を習得し、自らを客観的に捉える力を養う。					知能検査、発達検査、脳機能検査、性格検査	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6.	
A 知識・理解力			心理検査の基礎知識を身に付けている。			
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。			
E 自己管理能力			自己を客観的に見つめ理解し、自らを律することができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 詳細は初回時に説明する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 中間期と期末にフィードバックする。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①心理検査実施時の注意事項、倫理規定および報告書の書き方。				心理・福祉における倫理規定を調べる。	30	
②知能検査1:ピネー式知能検査				ピネー式知能検査についてまとめる。	60	
③知能検査2:ウェクスラー式知能検査				ウェクスラー式知能検査についてまとめる。	60	
④知能検査3:その他の知能検査				知能検査について復習する。	60	
⑤性格検査1:質問紙法検査				質問紙法性格検査についてまとめる。	60	
⑥性格検査2:投影法検査				投影法性格検査についてまとめる。	60	
⑦性格検査3:作業検査法検査				作業検査法性格検査についてまとめる。	60	
⑧知能検査と性格検査のまとめ				レポートをまとめる。	60	
⑨乳幼児の発達に関する検査				発達検査についてまとめる。	60	
⑩行動・社会性に関する検査および親子関係に関する検査				行動・社会性に関する検査についてまとめる。	60	
⑪言語発達に関する検査				失語症検査についてまとめる。	60	
⑫知覚・感覚に関する検査				知覚に関する検査についてまとめる。	60	
⑬記憶に関する検査				記憶検査についてまとめる。	60	
⑭高次脳機能検査				高次脳機能検査についてまとめる。	60	
⑮全体のまとめ				総復習をする。	120	
使用テキスト: テキストなし。必要な資料等は講義時に配布する。				その他参考文献など: 松原達哉(編)心理テスト法入門第4版—基礎知識と技法習得のために—[日本文化科学社]		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 心理・福祉の領域で用いられている各種心理検査について学び、体験しながら、心理アセスメントの基礎を学びます。体験学習によるアクティブ・ラーニングで学びます。						